

幼稚園と小学校が連携し、子どもたちの豊かな心を育もう
ー地域と協働した活動を進めながらー

小牧市立米野小学校
＜連携園：第一幼稚園＞

1 実践のねらい

- (1) 幼稚園と小学校が地域の方と共に、連携・話し合いの場を定期的にもち、地域の中での交流・連携を通して、地域の活動に積極的にに関わり、地域の一員としての自覚や感謝の気持ちを高め、子どもたちの豊かな心を育む。
- (2) 地域と協働し、地域から信頼される開かれた学校・幼稚園づくりに努める。
- (3) 子どもたちが小学校に入学するとき、円滑な移行接続が図れるように、創意工夫のある連携を推進する。

2 実践の内容

(1) 「仲間づくりサミット」

地域との関わりを深め、子どもたちが自主的に活動に取り組めるように、計画・準備の段階で「仲間づくりサミット」を開催した。子どもたちが自らの手で行えることは何かを考えたり、地域の方にどのような協力をしていただくかを話し合ったりした。地域の敬老会、ボランティア団体、企業、花屋さんら、様々な地域の方との関わりがもて、交流を広げることができた。

地域の方と共に行事等の企画に携わることで、子どもたちは、地域とのつながりをもとうとする意識をより高めることができた。



【仲間づくりサミット】

(2) 協力してビオラを育てる「花・華プロジェクト」

「学校・園・地域を全校で育てた花で彩りたい」という思いからスタートした「花・華プロジェクト」は、中心となる5年生の実行委員「花プロ」が「仲間づくりサミット」に参加し、計画案を提案するとともに、地域の方への協力をお願いした。校区の花屋さんが講師になり、定期的に来校して、育て方を教えてくださった。9月に、風に飛ばされてしまいそうな小さなビオラの種を約1700粒まいた。芽が出た後、クラスで当番を決めて水やりを行い、約1か月で黒ポットに移植した。11月下旬に、花が咲き、冬休みも水やりを行った。3学期に入り「力仕事はぼくたちにお任せ！」花レンジャーを組織し、花の色ごとにプランターに植え替えを行った。1年生から4年生、国際学級、特別支援学級、そして、第一幼稚園やお世話になった敬老会の方が集う地域の会館にも、花レンジャーたちがビオラを届けることができた。米野小の「感謝の会」や第一幼稚園の「おわかれ会」では、卒業・卒園する子どもたちに、ビオラを入れた小物入れをプレゼントした。そして卒業式・卒園式では、式場をビオラで彩ることができた。



【花・華プロジェクト】

(3) 体験講座「この指とまれ」

11月に行われた体験講座「この指とまれ」は、PTA運営委員や米野スポーツ文化クラブ

など、地域の方の力を借りて開催されている 10 年以上の歴史をもつ行事である。毎年、多くの参加者があり、子どもたちだけでなく保護者も一緒に参加することを楽しみにしている。今年は、第一幼稚園にも参加を呼び掛けた。実行委員会や仲間づくりサミットでは、地域の方との交流がもっと広げられるように、5月の立ち上げから、知恵を出し合った。6月から、開催する講座内容の検討、講師の依頼を行い、ほとんどの講師は、地域の方が引き受けてくださった。今年の新講座は「科学実験教室」など5講座だった。「科学実験教室」は、子どもたちの「校区の工場を見学してみたい」という声から、学校近くにある空気圧機器メーカーに依頼し、担当していただくことになった。得意分野の「空気」の性質について、身近な材料から学ぶことができた。地域の方、中学生ボランティアの協力の下、600名以上が集まり、笑顔いっぱいの体験講座を行うことができた。



【体験講座「この指とまれ」】

(4) 地域の方と共にエコ活動にトライ

4年生が、第一幼稚園の年中組と一緒に、地域の公園や道路のごみゼロ運動に取り組んだ。「仲間づくりサミット」での話し合いにより、長年地域のごみゼロ運動や挨拶運動に取り組まれている「さわやか会」の人に参加していただくことになった。さらに、小牧市南部地区ボランティア連絡会や保護者の学校ボランティア（米野小サポーター）も参加して下さることになった。

4年生と園児、地域の方、保護者が入るように班編制をして、地域の方の助言を基に、分担された場所のごみを拾った。拾ったごみは、学校に持ち帰り、「さわやか会」の方の御指導の下、ごみの分別調査も行った。



【エコ活動（ごみの分別調査）】

(5) その他の交流

ア 米野小学校の運動会に第一幼稚園の年長児が

参加し、第一幼稚園の運動会には卒園生の小学生が参加し、一緒に活動した。

イ 1年生が生活科の学習で、自分たちの作ったおもちゃを使って、第一幼稚園年長組と一緒に活動した。

ウ 5年生の総合的な学習の時間「いろいろな人と交流しよう」で、地域の福祉施設の方や第一幼稚園の園児と一緒に活動した。

エ 米野小学校と第一幼稚園が小牧山で校外学習を実施することから、日程を調整し、小牧山で小学生と園児と一緒に活動した。

3 実践の成果と課題

幼稚園児や地域の方との様々な交流活動を体験して、小学生は交流活動への思いや願いをもったり、自分自身の成長を感じたりすることができた。また、園児は、小学校生活への期待を高めることができた。そして、多くの地域の方や保護者に参加していただいたことで、子どもたちは地域に育てられていることへの感謝や地域に愛着をもつことができた。

一方、幼稚園との交流では、小学生の人数が多いため、交流できる学年や人数が限られてしまう面があった。今後は、地域の保育園との交流活動も進めることで、多くの児童に異年齢との交流を体験させるとともに、地域での仲間づくりを充実させていきたいと考えている。